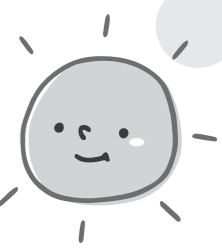


元気なまちかど



都市部の学生が田舎体験

都市農村交流事業

市が進める都市農村交流事業で、5月から6月にかけて、神戸市などの中学、高校7校から約950人が市内を訪れ、農村での民泊による農業体験や家業体験を行いました。

5月19日には、甲南町野川で神戸市の玉津中学校2年生4人が、甲南第三小学校児童と田植えを体験しました。
慣れない作業に戸惑いながらも、小学生と励まし合って植え、「お米のありがたみが分かった。自然の中で良い体験になった」と笑顔で話していました。



▲地元小学生と田植えを体験する神戸市立玉津中学校生徒

レクリエーション活動を通じ交流

全国斉「あそびの日」

甲賀市レクリエーション協会が主催する「あそびの日」が5月24日、土山中央公民館を中心に行われ、地域の子どもからお年寄りまで約40人が、レクリエーション活動を通じて交流を深めました。

この日は、土山宿の特長が書かれた「あいの土山宿場カルタ」の中から土山宿本陣跡など7か所の史跡を訪ね、参加者は、当時の様子に思いを巡らせていました。
最後には「甲賀忍者音頭」を踊り、全員が「の輪」になって楽しみました。



▲土山宿旅籠「平野屋」の説明に耳を傾ける参加者

湖国の豊かな自然を次の世代に

第42回クリーンハイク

自然保護を目的に滋賀県勤労者山岳連盟が主催する清掃登山が県内14カ所で実施されました。

市内では6月1日、飯道山（標高664m）を目的地として、綾野山歩会をはじめ市内外から19人が参加し、約10キロのコースに沿い、缶や瓶など合計12.5キロを回収しました。
今年で9回目の参加となる同会のメンバーは、「最初は、100キロ近いごみがあったが、年々減少してきている。これからも山への感謝を込めて続けていきたい」と話していました。



▲飯道山の清掃登山を行う参加者

社会人の誇りと自覚を持って

新就職者激励会

市内の企業・事業所に新しく就職された方を対象とした新就職者激励会が5月28日、忍の里プラザで開催され、58社から225人が参加しました。

中嶋市長は「遅くとも元気に、甲賀市を日本へ、世界へ発信できる力を貸してください」と激励し、新就職者を代表して甲賀農業協同組合の野口貴茂さんが「感謝の気持ちを忘れず、社会人の誇りと自覚を持って、笑顔はじける地域づくりに貢献します」と抱負を誓いました。



▲市長に抱負を誓う野口さん

全校生徒で地域をきれいに

クリーン大作戦

県立甲南高等学校・甲南高等養護学校が取り組む「クリーン大作戦」が5月28日、行われ、全校生徒414人が地域の清掃活動に汗を流しました。

この取り組みは、恒例の学校行事として10年以上続けられています。
この日は、校内の草引きのほか、道路のごみ拾い、最寄駅や近くの保育園の清掃を行いました。
生徒は「通学に利用する駅。みんなに気持ち良く使ってもらえるように」と、駅の窓ふきや掃き掃除に協力して取り組みました。



▲寺庄駅構内の清掃を行う甲南高校生徒

甘くておいしい入園お祝い

ふるさと甲賀七彩ものがたり研究会

市の食文化を伝える活動をしている「ふるさと甲賀七彩ものがたり研究会」と更生保護女性会のメンバー8人が5月23日、土山茶を使ったデザート「茶々ゼリー」を作り、土山地域3保育園の園児に入園お祝いとしてプレゼントしました。

「茶々ゼリー」は、土山茶や牛乳、いちごなど地元産の食材にこだわって作られているもので、この取り組みは、子どもたちに地のものの良さを味わってもらおうと、20年以上続けられています。
園児たちは、彩りの良いゼリーに感激し、「甘くておいしい」と笑顔で頬張っていました。



▲園児のために「茶々ゼリー」を作るメンバー